



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 札

上場会社名 株式会社 クワザワ

コード番号 8104 URL <http://www.kuwazawa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑澤 嘉英

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 三田 久郎

TEL 011-864-1112

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	63,856	12.6	851	172.0	909	139.1	1,247	355.3
23年3月期第3四半期	56,689	△7.2	313	15.0	380	9.6	273	281.6

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,250百万円 (358.9%) 23年3月期第3四半期 272百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	150.26	—
23年3月期第3四半期	32.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	39,904	9,300	20.7
23年3月期	29,676	8,104	24.0

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 8,277百万円 23年3月期 7,115百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	5.00	5.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	5.1	750	50.3	800	40.7	1,000	105.2	121.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 2社 (社名) 株式会社ニッケー 株式会社サツイチ 、 除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	8,347,248 株	23年3月期	8,347,248 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	93,875 株	23年3月期	32,727 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	8,300,718 株	23年3月期3Q	8,315,500 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復旧に向けた着実な動きがみられたものの、欧州における金融危機やタイの洪水問題、円高の影響などから景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの位置する建設関連業界におきましては、政府の住宅取得促進施策の効果により持ち直しの動きを見せていた新設住宅着工戸数の伸びが鈍化してきたものの、全体としては堅調に推移いたしました。

このような環境において、当社グループでは、東日本大震災の被災地における復旧関連資材および仮設住宅資材などの需要に積極的に対応したことに加え、関東地区の建材販売店やビルダーの新規開拓を進めました。また、主な営業基盤である北海道においては、公共投資が減少する一方、民間の新築マンションや医療機関関連の建替え、修繕などの需要に対する積極的な営業が実を結び、建設資材の販売が堅調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高が638億56百万円（前年同期比112.6%）、営業利益は8億51百万円（前年同期比272.0%）、経常利益は9億9百万円（前年同期比239.1%）となりました。また、株式会社ニッケーと株式会社サツイチを完全子会社化したことに伴う負ののれん発生益5億5百万円を特別利益に計上したことなどから、当期純利益は12億47百万円（前年同期比455.3%）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

建設資材

公共工事は依然として減少傾向にあるものの民間の建築需要が底堅く、基礎資材の売上が伸びを見せたことから、売上高は417億73百万円（前年同期比109.8%）、セグメント利益は8億12百万円（前年同期比126.7%）となりました。

建設工事

東日本大震災の復旧工事への取組みなどから、売上高は148億99百万円（前年同期比114.4%）となり、セグメント利益は2億64百万円（前年同期はセグメント損失12百万円）となりました。

石油製品

原油価格の上昇と販売数量の増加により、売上高は49億75百万円（前年同期比120.1%）となり、セグメント利益は33百万円（前年同期はセグメント損失13百万円）となりました。

資材運送

競争激化による輸送単価の低下もありましたが、株式会社サツイチの完全子会社化もあり、売上高は19億89百万円（前年同期比158.3%）となり、セグメント利益は1億95百万円（前年同期比125.9%）となりました。

その他

売上高は2億19百万円（前年同期比100.8%）、セグメント利益は56百万円（前年同期比114.6%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比102億27百万円増加して399億4百万円(前連結会計年度末比134.5%)となりました。流動資産は同91億96百万円増加して322億48百万円、固定資産は同10億30百万円増加して76億56百万円となりました。流動資産の増加の主なものは、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。固定資産のうち有形固定資産は、同10億13百万円増加して53億50百万円となりました。無形固定資産は、同88百万円増加して1億73百万円となりました。投資その他の資産は、同71百万円減少して21億32百万円となりました。

(負債の状況)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末比90億31百万円増加して306億4百万円(前連結会計年度末比141.9%)となりました。流動負債は、同90億78百万円増加して278億7百万円、固定負債は同46百万円減少して27億97百万円となりました。流動負債の増加の主なものは、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。固定負債の減少の主なものは、長期借入金の減少によるものであります。

(純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末比11億95百万円増加して93億円(前連結会計年度末比114.8%)となりました。この増加の主なものは、利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の24.0%から20.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年11月11日に公表の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間より、株式会社ニッケーおよび株式会社サツイチの株式を新たに取得したため、同社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項(法定実効税率を使用する方法)に準じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,334	4,061
受取手形及び売掛金	14,728	21,013
商品及び製品	618	624
販売用不動産	1,774	1,697
未成工事支出金	1,017	4,312
原材料及び貯蔵品	11	15
その他	656	588
貸倒引当金	△88	△65
流動資産合計	23,051	32,248
固定資産		
有形固定資産	4,336	5,350
無形固定資産	84	173
投資その他の資産		
その他	2,474	2,436
貸倒引当金	△269	△304
投資その他の資産合計	2,204	2,132
固定資産合計	6,625	7,656
資産合計	29,676	39,904
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,710	22,731
短期借入金	990	580
1年内返済予定の長期借入金	709	704
未払法人税等	36	119
賞与引当金	170	76
工事損失引当金	9	80
完成工事補償引当金	55	69
訴訟損失引当金	52	—
災害損失引当金	11	9
その他	984	3,436
流動負債合計	18,728	27,807
固定負債		
長期借入金	1,798	1,357
退職給付引当金	308	271
負ののれん	10	8
資産除去債務	16	18
その他	710	1,142
固定負債合計	2,843	2,797
負債合計	21,572	30,604

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	417	417
資本剰余金	318	318
利益剰余金	6,345	7,551
自己株式	△9	△21
株主資本合計	7,072	8,266
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43	10
その他の包括利益累計額合計	43	10
少数株主持分	988	1,022
純資産合計	8,104	9,300
負債純資産合計	29,676	39,904

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	56,689	63,856
売上原価	52,167	58,730
売上総利益	4,521	5,125
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	2,111	2,173
貸倒引当金繰入額	55	—
その他	2,041	2,100
販売費及び一般管理費合計	4,208	4,274
営業利益	313	851
営業外収益		
受取利息	24	27
受取配当金	14	16
負ののれん償却額	41	2
持分法による投資利益	11	8
雑収入	98	125
営業外収益合計	190	180
営業外費用		
支払利息	87	74
債権売却損	22	30
雑損失	13	17
営業外費用合計	123	122
経常利益	380	909
特別利益		
固定資産売却益	22	2
負ののれん発生益	—	505
貸倒引当金戻入額	13	—
訴訟損失引当金戻入額	88	2
その他	10	—
特別利益合計	134	510
特別損失		
固定資産売却損	—	2
固定資産除却損	0	6
減損損失	16	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	14	—
その他	0	—
特別損失合計	32	8
税金等調整前四半期純利益	482	1,412
法人税等	174	128
少数株主損益調整前四半期純利益	308	1,283
少数株主利益	34	36
四半期純利益	273	1,247

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	308	1,283
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35	△33
その他の包括利益合計	△35	△33
四半期包括利益	272	1,250
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	238	1,214
少数株主に係る四半期包括利益	33	35

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	建設資材	建設工事	石油製品	資材運送	計				
売上高									
外部顧客への売上高	38,050	13,023	4,141	1,256	56,472	217	56,689	—	56,689
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,381	143	78	351	1,953	38	1,992	△1,992	—
計	39,431	13,166	4,219	1,607	58,425	256	58,681	△1,992	56,689
セグメント利益 又は損失(△)	640	△12	△13	155	769	49	819	△506	313

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、損害保険代理店事業および車両整備事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△506百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△539百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	建設資材	建設工事	石油製品	資材運送	計				
売上高									
外部顧客への売上高	41,773	14,899	4,975	1,989	63,637	219	63,856	—	63,856
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,303	301	89	351	2,045	37	2,082	△2,082	—
計	43,076	15,201	5,064	2,340	65,682	256	65,939	△2,082	63,856
セグメント利益	812	264	33	195	1,305	56	1,361	△510	851

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、損害保険代理店事業および車両整備事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△510百万円には、セグメント間取引消去25百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△536百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「建設資材」セグメントにおいて、株式会社ニッケーの株式を新たに取得したことに伴い、また、「資材運送」セグメントにおいて、株式会社サツイチの株式を新たに取得したことに伴い負ののれん発生益を計上しております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「建設資材」1億81百万円および「資材運送」3億23百万円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。